平 成 28 年 度
（2016年度）

社会情報学部
（第 3 年次編入学）

学 生 募 集 要 項

群 馬 大 学

社会情報学部の教育ポリシー

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）～このような人を求めています～

⑴　人間や社会と情報とのかかわりについて関心がある人
⑵　現代社会における社会的諸問題に興味がある人
⑶　情報システムの活用、あるいはそれらが社会に及ぼす影響に関心がある人

～高等学校等で履修すべき科目・取得が望ましい資格等～

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習することが望ましい。国語や数学、英語、地理歴史、公民等を学習し、さらに広く社会の出来事に関心を持つようにしておくことが望ましい。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）～このような教育を行います～

⑴　大学での学習に必要な基礎的な学力や学習の方法・道具を習得させ、多角的な視点から問題を探求する姿勢を身につけさせる教育
⑵　専門教育を支える十分な社会情報学的な思考方法を醸成するとともに、情報リテラシーや外国語運用能力を養成する教育
⑶　高度情報社会の特質を専門的・多角的に読み解く力や問題解決能力を養成する教育
⑷　社会のさまざまな場面において必要とされる実践的な能力を養成する教育
⑸　学際的・総合的な知識や思考能力を強化する教育
⑹　自ら設定したテーマに沿って調査・研究活動を進め、それを論文やプレゼンテーションとして結実させる能力を養成する教育

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）～このような人材を育てます～

所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。

⑴　社会や人間を深く理解するための専門的な知識と、それらを広い視野で捉えるための学際的・総合的な知識を有する者
⑵　高度情報社会における社会情報過程（社会で情報が生産・流通・加工・蓄積・活用される一連のプロセス）の諸課題を自ら発見し、論理的に分析・考察することができる者
⑶　「高度情報社会特有の諸問題」や「情報化と人間の共存のあり方」に積極的な関心を持ち続けることができる者
⑷　養成された能力を社会のさまざまな場面で実践的に活用し、それぞれの状況に適合した施策や問題解決方法の提案ができる者
⑸　効果的な分析・考察を行い､そのプロセスをわかりやすく説明・伝達するためのＩＣＴ利活用スキル、プレゼンテーションスキル、コミュニケーションスキルを備えた者

目　　次

平成28年度群馬大学社会情報学部第３年次編入学学生募集要項……………………… 1

試験場案内図………………………………………………………………………………… 8

社会情報学部の概要………………………………………………………………………… 9

出願書類記入上の注意………………………………………………………………………14

出願書類等

平成28年度（2016年度）
群馬大学社会情報学部
第3年次編入学学生募集要項

1　募集人員

学　部	学　科	募　集　人　員
社会情報学部	情報行動学科	10名（社会人入試若干名を含む。）
	情報社会科学科	10名（社会人入試若干名を含む。）

2　入学の時期及び修学条件

⑴　入学の時期は、平成28年４月とします。

⑵　学士の学位を得るには、本学部に２年以上在学し所定の単位を修得しなければなりません。

⑶　入学後は、出身大学・学校の修得した単位の全部又は一部を本学部の卒業要件の単位として認定します。

3　出願資格

⑴　一般入試

次の各号のいずれかに該当する者

①　大学を卒業した者又は平成28年３月までに卒業見込みの者

②　学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第４項の規定により学士の学位を授与された者又は平成28年３月までに学士の学位を授与される見込みの者

③　短期大学を卒業した者又は平成28年３月までに卒業見込みの者

④　高等専門学校を卒業した者又は平成28年３月までに卒業見込みの者

⑤　大学に２年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上取得した者、又は平成28年３月までに大学に２年以上（休学期間を除く。）在学見込みで、かつ、62単位以上取得見込みの者

⑥　学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で、総授業時数が1,700時間以上）を修了した者又は平成28年３月までに修了見込みの者

⑦　外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者又は平成28年３月までに修了見込みの者

⑵　社会人入試

次のいずれかに該当し、平成28年４月１日現在３年以上を経過する者

①　大学・短期大学・高等専門学校を卒業した者

②　学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第４項の規定により学士の学位を授与された者

③　大学に２年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上取得し退学した者

④　学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程（修業年限が２年以上で、総授業時数が1,700時間以上）を修了した者

⑤　外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者

参考　学校教育法（抜粋）

第104条第４項　独立行政法人大学評価・学位授与機構は、文部科学大臣の定めるところにより、次の各号に掲げる者に対し、当該各号に定める学位を授与するものとする。

１　短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又はこれに準ずる者で、大学における一定の単位の修得又はこれに相当するものとして文部科学大臣の定める学習を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認める者　学士

２　学校以外の教育施設で学校教育に類する教育を行うもののうち当該教育を行うにつき他の法律に特別の規定があるものに置かれる課程で、大学又は大学院に相当する教育を行うと認めるものを修了した者　学士、修士又は博士

第132条　専修学校の専門課程（修業年限が二年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第90条第1項に規定する者に限る。）は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。

4　出願期間

出願書類の提出は、本学所定の封筒を使用し、必ず書留速達で一括して郵送してください。

平成27年６月22日㈪から６月26日㈮までに必着のこと。ただし、６月26日㈮に限り９時30分から16時00分（時間厳守）まで持参を認めます。

（注）受付期間を過ぎた場合には、受理しないので郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。

5　出願手続

出願者は、出願期間内に下記の出願書類を社会情報学部教務係あて提出してください。

出願書類等	摘　　　要	該　当　者
⑴入学願書	本学所定の用紙。	全員
⑵志望理由書	本学所定の用紙。	全員
⑶卒業証明書又は卒業見込証明書	出身学校所定の用紙。	出願資格⑴①③④⑥⑦及び⑵①④⑤に該当する者
⑷学位授与証明書	大学評価・学位授与機構が作成したもの。	出願資格⑴②及び⑵②に該当する者
⑸在籍証明書	出身学校所定の用紙。大学に２年以上（休学期間を除く。）在学した、又は在学見込みのある証明書であること。	出願資格⑴⑤又は⑵③に該当する者
⑹成績証明書	出身学校所定の用紙。	全員
⑺照合票・受験票	本学所定の用紙。写真１枚（上半身・正面・無帽、出願前３か月以内に撮影したもの）を照合票指定欄に貼付してください。	全員
⑻検定料30,000円	次のいずれかの方法により支払ってください １．金融機関（ゆうちょ銀行を除く）からの支払い ⑴　本募集要項に添付してある検定料振込用紙により、上記金額を必ず金融機関窓口から振り込み、振込金受付証明書（大学提出用）を受領してください。なお、振込手数料は振込人の負担となりますので、留意してください。 ⑵「振込金受付証明書（大学提出用）」を編入学願書裏面の所定の欄に貼り付けてください。 ⑶　振込金受取書は本人の控えとして、大切に保管しておいてください。 ⑷　振込取扱期間　平成27年６月８日（月）から６月26日（金）15時まで ⑸　金融機関出納印のないもの、金額を訂正したもの及び鉛筆書きのものは無効になります。また、ATM（現金自動預払機）、携帯電話、パソコン等からは、振り込まないでください。 ２．コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。） ⑴　別添「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。 ⑵　支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料　取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、編入学願書裏面の所定の欄に貼り付けてください。 ⑶　支払期間　平成27年６月８日（月）から６月26日（金）15時まで（「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了30分前まで） ３．クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。） ⑴　別添「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料支払方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。 ⑵　支払後、「入学検定料・選考料　取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、編入学願書裏面の所定の欄に貼り付けてください。 ⑶　支払期間　平成27年６月８日（月）から６月26日（金）15時まで ※　既納の検定料は原則として返還しません。 ただし、検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合又は書類の不備等により受理されなかった場合、あるいは重複振り込み等所定の金額より多く振り込んだ場合は、下記手続により返還します。 返還に当たっては便せん等を用い、次のア～エを明記した検定料返還申出書を作成して群馬大学財務部経理課へ郵送してください。	全員

出願書類等	摘　　　要	該　当　者
⑻検定料30,000円	群馬大学社会情報学部編入学試験検定料返還申出書 ア　返還申出の理由 イ　氏名（フリガナ） ウ　郵便番号、現住所 エ　連絡先電話番号 返還申出書送付先 〒371－8510　群馬県前橋市荒牧町四丁目２番地 群馬大学財務部経理課収入係　電話027－220－7062 　返還手続を行う際に、「振込金受取書」又は「入学検定料・選考料　取扱明細書」が必要となります。返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。 ※　東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。 〈検定料の免除の対象者〉 １．東日本大震災に係る特別措置 ⑴　東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者 ①　学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者 ②　学資負担者が死亡又は行方不明の者 ⑵　学資負担者の居住地が、福島第一原子力発電所で発生した事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者 ２．風水害等の災害に係る特別措置 ⑴　出願期限の日から前１年以内に発生した風水害等の災害において、災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者 ①　学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流出した者 ②　学資負担者が死亡又は行方不明の者 ⑵　本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用地域」については、本学ホームページ（入試案内）を御確認ください。 　上記に該当される方は、当該「検定料免除申請書」を本学ホームページ（入試案内）からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日８時30分から17時の間に学務部学生受入課【電話027－220－7149】まで連絡してください。	全員
⑼受験許可書	勤務先所属長が発行したもの。	職業を有している者
⑽専修学校専門課程の修業年限及び課程修了に要する総授業時数の証明書	本学所定の用紙。	出願資格⑴⑥及び⑵④に該当する者
⑾受験票等送付用封筒	本学所定の封筒。送り先を明記し、672円分の切手を貼付してください。	全員

㈲受験票は、７月３日㈮までに到着するように送付しますが、それまでに到着しない場合は、６頁「16　第３年次編入学に関する問合せ・連絡先」まで、問合せてください。

6　選抜方法

学力試験・面接（口頭試問）・出身学校における成績・志望理由書により総合判定します。
（英語及び数学の得点は素点とするが、得点調整を行うことがあります。）

7　学力試験科目

⑴　情報行動学科

区　　分		科　　　目　　　等
一　般　入　試	専門科目	行動科学分野、人文学分野、情報科学分野から２分野を選択して解答してください。 詳細は、7頁「17　専門科目の出題範囲について」を参照してください。
	英語又は数学	英語又は数学のいずれか１科目を選択してください。
社会人入試	専門科目	内容は、一般入試の専門科目と同じです。

㈱面接は、全員に対して行います。

⑵　情報社会科学科

区　　分		科　　　目　　　等
一　般　入　試	専門科目	「社会科学」として出題します。 ５分野（社会・政治、法律、経済、経営、環境科学）それぞれから論述式の問題を出題しますので、５分野の中から２分野を選択して解答してください。 詳細は、7頁「17　専門科目の出題範囲について」を参照してください。
	英語又は数学	英語又は数学のいずれか１科目を選択してください。
社会人入試	専門科目	内容は、一般入試の専門科目と同じです。

㈱面接は、全員に対して行います。

8　学力試験等日時

⑴　一般入試

月日＼時間		8:30	9:10	9:30	10:30	10:50	11:00	12:00	12:50	13:00
7月11日㈯		受付	諸注意	専門科目		諸注意	英語又は数学		諸注意	面接

⑵　社会人入試

月日＼時間		8:30	9:10	9:30	10:30	10:50	11:00
7月11日㈯		受付	諸注意	専門科目		諸注意	面接

㈱１　受付は８時30分から行います。諸注意等があるので９時までには、定められた試験室に入室してください。

２　試験当日やむを得ない事情により遅刻した者には、試験開始後30分までは受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
　また、課せられた試験等はすべて受験しなければ失格となります。
　なお、試験時間中の途中退場は認めません。

３　試験は、群馬大学社会情報学部において実施します。

４　昼食は必ず持参してください。

５　面接の終了時間は、受験者数により、遅くなる場合があります。

６　試験当日は、付添者は試験場に入講できません。

9　学力試験等の配点

⑴　情報行動学科

科　目　等	配　　　　点
専　門　科　目	200点（１分野100点）
英語又は数学	200点
面　　　　接	（総合判定の資料とします。）

⑵　情報社会科学科

科　目　等	配　　　　点
専　門　科　目	200点（１分野100点）
英語又は数学	200点
面　　　　接	（総合判定の資料とします。）

10　合格発表

平成27年７月29日㈬

合格者本人には郵便で通知します。

併せて、合格者の受験番号を群馬大学社会情報学部のホームページ（入試情報）に同日の13時以降から８月７日㈮17時まで掲載します。

URL：http://www.si.gunma-u.ac.jp/index-j.html

なお、ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うもので、万一ホームページの情報と合格者に郵送される合格通知書が異なる場合は、合格通知書を正しいものとします。

また、合否についての電話による問合わせには、応じません。

11　入学手続

合格通知を受けた者は、入学手続を所定の期間に完了してください。

なお、事情により入学を辞退する場合は、速やかに入学辞退届（様式任意）を提出してください。

⑴　入学手続期間及び方法

平成27年12月７日㈪から12月11日㈮　詳細については、平成27年11月中旬に合格者本人に対して郵便で通知しますので、転居等により通知先を変更する場合は、速やかに届出をしてください。

所定の期間に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱います。

⑵　入学手続に必要なもの

①　入学料　282,000円

②　授業料　前期分　267,900円　年額　535,800円

（注）ア　入学料及び授業料に、入学時及び在学中改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ　入学料及び授業料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ　納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

エ　入学手続完了者が、平成28年３月31日㈭までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続の上、納入した授業料相当額を返還します。

オ　授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に、後期分も併せて納入することができます。

⑶　入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者に対しては、入学料又は授業料の全額若しくは半額を免除する制度があります。

また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対しては、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

東日本大震災で罹災し学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料を免除する制度があります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ（http://www.gunma-u.ac.jp/）の「受験生のみなさまへ」をご覧ください。

入試結果や学業成績などが特に優秀な学生（卓越した学生）に対して、各学部等からの推薦に基づき、授業料の免除をする制度があります。

問合せ・連絡先　群馬大学学務部学生支援課　電話　027－220－7141

⑷　奨学金

経済的理由により修学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ（http://www.gunma-u.ac.jp/）の「受験生のみなさまへ」をご覧ください。

問合せ・連絡先　群馬大学学務部学生支援課　電話　027－220－7142

なお、編入前の学校で日本学生支援機構の奨学金を貸与されていた場合、本学編入後も奨学金の貸与を継続できる制度があります。詳しくは在学校の奨学金担当者へお尋ねください。

12　追加合格

合格者の入学辞退により欠員を生じた場合は、追加合格により欠員を補充します。これについては、本人あてに直接電話連絡しますので、不合格となった場合でも、連絡のとれる状態にしておいてください。(転居等により連絡先を変更する場合は速やかに届出をしてください。連絡がとれない場合には、放棄と見なすことがあります。)

13　入学志願者の個人情報保護について

群馬大学では、提出された出願書類により取得した志願者の個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報については、次の目的以外には利用しません。

⑴　入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）

⑵　入学手続完了者にあっては、入学者データとしての入学後の修学指導業務、学生支援業務及び授業料徴収業務

14　入学準備

入学前までに、指定する図書を読み、レポートを作成することを課題とします。(詳細は合格者に別途お知らせします。)

15　その他

⑴　出願書類に不備のある場合は、これを受理しないので十分留意してください。

⑵　出願書類受理後は、いかなる理由があっても出願書類及び検定料は返還しません。

⑶　出願書類の記載事項と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

⑷　入学願書等を請求する場合は、返信用封筒（角形２号､あて名明記の上、205円分切手貼付）を同封し、大学あての封筒に「社会情報学部第３年次編入学学生募集要項請求」と朱書してください。

16　第３年次編入学に関する問合せ・連絡先

〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町四丁目２番地　群馬大学社会情報学部教務係
電話　027－220－7404・7422
FAX　027－220－7405

17　専門科目の出題範囲について

⑴　情報行動学科

分　　野	出　　題　　範　　囲
行　動　科　学	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『脱常識の社会学 第二版－社会の読み方入門』 「４章　犯罪の常態性」(137頁～190頁) ランドル・コリンズ（著）（岩波書店 2013年）
人　文　学	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『高校倫理からの哲学３ 正義とは』直江清隆・越智貢（編）（岩波書店 2012年）
情　報　科　学	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『キーワードで学ぶ最新情報トピックス2015』 久野靖・佐藤義弘・辰己丈夫・中野由章（日経BP社 2015年）

⑵　情報社会科学科

分　　野	出　　題　　範　　囲
社　会・政　治	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『政治学の方法（有斐閣アルマ）』加藤淳子・境家史郎・山本健太郎 （有斐閣 2014年）
法　　律	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『法学入門（第４版）』五十嵐清（悠々社 2015年）
経　　済	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『ゼミナール経済学入門（第４版）』福岡正夫（日本経済新聞出版社 2008年）
経　　営	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『経営学入門キーコンセプト』井原久光（編）（ミネルヴァ書房 2013年）
環　境　科　学	以下の図書の内容に基づいて出題します。 『図説 生物多様性と現代社会－「生命（いのち）の環」30の物語』 小島望（農山漁村文化協会 2010年）

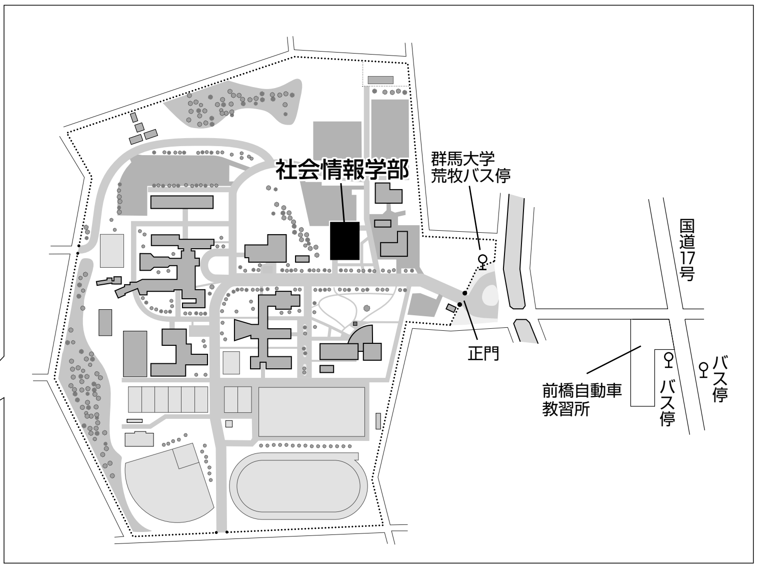
18　本学部所在地及び交通機関

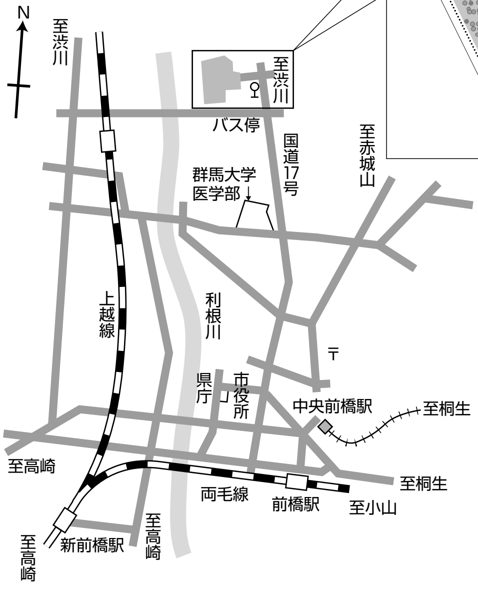
群馬大学社会情報学部
〒371-8510　群馬県前橋市荒牧町四丁目２番地　☎027－220－7404・7422（教務係直通）
ＪＲ前橋駅、ＪＲ新前橋駅及びＪＲ渋川駅からのバス運行は下表のとおりです。

乗車場所	バス行先案内表示	下車停留所	所要時間	備考
ＪＲ両毛線 前橋駅北口 ２番乗場	群馬大学荒牧経由渋川駅行 群馬大学荒牧経由渋川市内循環渋川駅行	群馬大学荒牧	約28分	関越交通バス
	渋川駅行 渋川市内循環渋川駅行	前橋自動車教習所前	約25分 徒歩10分	
	群馬大学荒牧経由小児医療センター行	群馬大学荒牧	約28分	
	小児医療センター行	前橋自動車教習所前	約25分 徒歩10分	
ＪＲ両毛線、 ＪＲ上越線、 新前橋駅東口	群馬大学荒牧経由総合スポーツセンター行 （土日祝運行）	群馬大学荒牧	約32分	関越交通バス
ＪＲ上越線 渋川駅前	群馬大学荒牧経由前橋駅行 渋川市内循環群馬大学荒牧経由前橋駅行	群馬大学荒牧	約28分	関越交通バス
	前橋駅行 渋川市内循環前橋駅行	前橋自動車教習所前	約25分 徒歩10分	

※ＪＲ群馬総社駅からは、公共交通機関がありませんので注意してください。
※公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

試験場案内図





社会情報学部の概要

1　社会情報学部

群馬大学社会情報学部は、平成５年10月に国立大学初の「社会情報学部」として発足しました。人文・社会科学と情報科学との融合のもとで「情報と人間の共存」の在り方を探究することを基本理念として、具体的には、①高度情報化社会の要請に応える人材の養成、②新たな学問分野の創造、③地域社会の要請と国際化への対応など、現代社会の要請に応えるよう教育研究を行っています。

21世紀を迎えた我が国はまさしく高度な「情報社会」へ移行しつつあり、様々な情報通信技術の普及・発展により、私たち個人、組織、社会を取り巻く情報環境は飛躍的に変化しています。

同時に、これらの情報通信技術の普及・発展は、個人・組織・社会の各レベルにおいて、様々な問題をもたらしています。インターネットにまつわる様々なトラブルや犯罪、著作権・個人情報の保護の在り方、電子商取引や行政手続の電子化、放送と情報通信の融合、デジタルデバイドなど、情報社会に生きる私たちが解決しなければならない問題も多様化し、かつ膨大なものになってきています。また、情報化によって社会も大きく変化しています。情報を基盤とする社会への移行について、個別の現象の背後にある普遍的な特質を深く考察することが重要な課題となってきています。社会情報学的アプローチは、これらの諸課題に対応しようとするものであり、この意味で、本学部の社会的使命は、創設時の予想をはるかに超えて根底的な意義を持つことがわかってきました。

こうした問題に真正面から取り組むためには、これまで以上に専門的な知見が必要となり、同時に、いっそうの学際的・総合的な視野が必要となってきています。こうした社会の要請に応えるために、より専門性を高めた２つの学科をつくりました。

情報を担う主体、すなわち、社会で生産され流通する社会情報を担う主体として想定されるものは、一人一人の人間をはじめとして、中間的な集団や組織、さらには社会全体にまで及ぶ広範なものです。しかも、それらの間では常に複雑に入り組んだ相互作用が生じています。このような幅広く複雑な社会情報の担い手について、それらの基本的な構成要素である「人間」と「社会」に切り分けることによって、相対的に独立した領域を研究対象にすることができることからそれぞれの立場の専門性を高めることが可能となります。そして、いうまでもなく「人間」と「社会」は、情報によって結びつけられてはじめて存在しうることから、それぞれの専門的知見を融合させることによっていっそう広くかつ高い水準の学際的・総合的視点の確立が可能となるのです。

こうして、「人間と情報」を中心に、様々な学問分野を横断的に学修する学科（情報行動学科）、「社会と情報」を中心に、社会科学諸分野の英知を段階的に学修する学科（情報社会科学科）とが誕生しました。

入学定員は各学科50名、第３年次編入学定員は各学科10名です。

この２つの学科は車の両輪のように一体となって、社会情報学の教育研究を進めつつ、皆さんが社会に出てから十分に活躍できるような教育の充実に力を入れています。

2　情報行動学科

情報行動学科のめざす教育

⑴　高い専門的知識に基づく高度な判断能力の育成

情報行動学科は、情報科学と人文・行動科学等の知識の幅広い修得を基に次のような能力の育成に努めます。

①　「人間と情報」について根源的に理解できる能力

②　人間にとっての情報・メディアの在り方を展望し情報機器を効果的に活用する能力、さらには、多様な情報システムを用いた人間の組織行動の諸問題を解決できる能力

③　新しい社会や人間についての様々な現象や問題構造を重層的に理解し、今後の我が国の社会を支える社会情報過程の諸問題の解決策を具体的実践的に提案できる能力

⑵　総合的にものを見ることができる能力の養成

異なる学科やコースなどの科目を履修しやすくすることによって、学生自身の学修の幅を広げ、学際的・総合的な理解能力を養成します。また、各学科から選出された複数教員が担当する科目を、学部共通科目・学科共通科目に配置し、社会情報学の学際性と総合性に関する知識や理解力を養成します。

⑶　実践的にものごとを解決できる能力の養成

情報行動学科では、社会情報学演習や情報行動実験実習、システム設計演習などの多くの実習・演習系科目を設置し、幅広い職業人として必要とされる、諸社会情報の収集・分析能力、及びこれらの結果をまとめて的確な諸施策の提案を行う学際的総合能力を養成します。

情報行動学科の教育内容

情報行動学科では、次の２つのコースが開設されています。情報科学や人文・行動科学等の最新の知識を総合的に学びつつ、情報メディアと人間の在り方について学習する「情報メディアコース」と、情報システムの活用と個人や集団の意思決定の在り方について学習する「情報システムコース」です。

情報メディアコース

情報メディアコースでは、情報科学や人文・行動科学の最新の知識や先端的な考え方を幅広く学びつつ、情報メディアと人間活動との関係についての総合的な学習を目指します。ここで「情報メディア」という言葉は、放送・出版のようなマスメディアや、ケータイ・インターネットのようなデジタルメディアももちろん含みますが、それだけを意味するわけではありません。言語や身振り・身体、映像といったものを含んだ、広がりのあるものと考えてください。その上で、歴史・社会・文化を創り出してきた人間の社会的実践的活動に着目しながら情報行動の研究を進めていきます。いかに最新のかつ便利な情報機器といっても、それを使い、また、そこから影響を受けるのは、文化を継承し歴史をもった人間であり社会である以上、こうした背景的な知識を欠いては現代の情報行動を的確には理解できません。

そのために、情報メディアコースは主として以下の４つの側面について総合的に学習します。

⑴　情報メディアと人間の関係

⑵　メディアの変容とコミュニケーションの変容の関係

⑶　コミュニケーションの社会文化的理解

⑷　情報倫理とメディアリテラシー

情報化やグローバル化が急速に進展する現代社会において求められているのは、人々の情報行動を様々な観点から観察し、問題を発見し、それらを的確に考察して具体的な解決策を提案できる能力です。情報メディアコースでは、上記４つの側面について学習することで、様々な情報行動を根本的に理解するために必要な、メディア、コミュニケーション、歴史、文化、社会に関する体系的な知識を身につけ、さらには、情報化の進展に常に影のように伴っている負の側面についても配慮できる鋭い視線や人間的な優しさを育み、人間的な洞察力をもって現代社会に関わることのできる知識・技術と柔軟な実践力を身につけることができます。

情報システムコース

情報通信技術が社会の様々な分野で利用されるようになっています。情報システムコースでは、情報通信技術を活用する能力と、そこでやりとりされる情報そのものを分析し活用する能力が身につきます。皆さんが修得した技能を創造的に活用し、新しい社会システムを築くことのできるようになることが情報システムコースの最終的な目標です。

単にパソコンやインターネットが使えるというような、与えられたソフトウエアを単純に利用しているだけでは発展がありません。また企業のように多数のパソコンやサーバを扱い、管理するためには仕組みから理解しておく必要があります。さらに、インターネットやデータベースで集められた膨大な情報は、集めただけでは何の役にも立ちません。それらについて様々な分析を行い、重要な決定を下すための手法や知識があり、企業や公共の場での意思決定能力を持たなければ真の活用ができません。

情報システムコースで開設される科目群の特徴は、次の２面から学習することです。

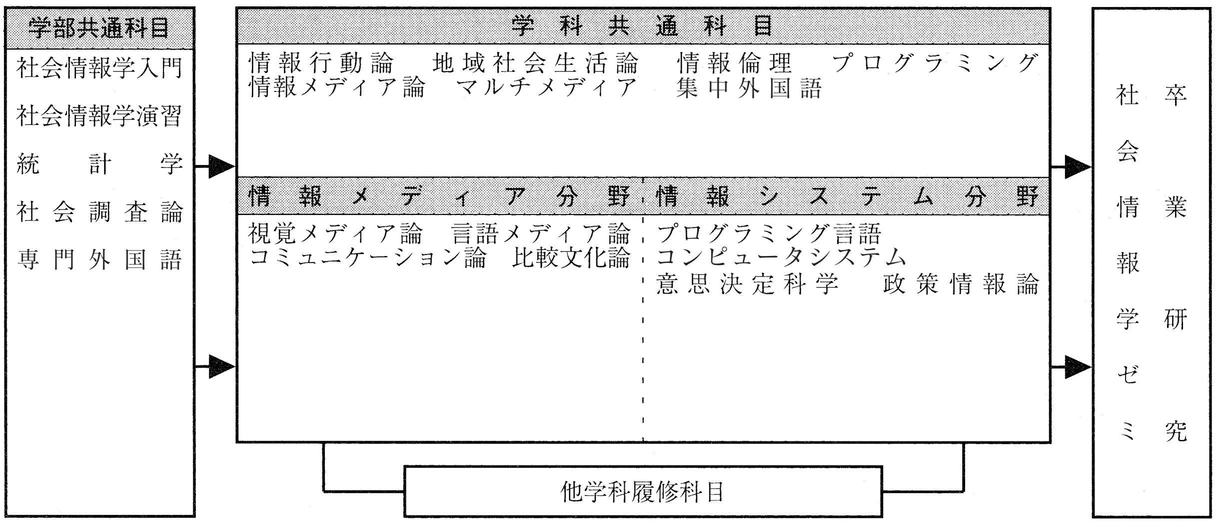
⑴　情報技術

⑵　情報の分析と活用

情報技術では、学部共通科目及び学科共通科目で基礎的情報処理能力を学習した上で、情報システムの運用や情報通信機器の仕組みと活用方法を中心に学習をし、また日々発展をしている社会に対して対応できる能力を身につけることを目指します。情報の分析と活用では、個人的及び集団的な意思決定手法を学び、さらに基礎的分析能力と実践的なマネージメント及び政策面からの応用能力を身につけることを目指します。

情報システムコースでこの２面から学習することによって、情報科学をベースとした社会や組織のシステム分析を行うことができるようになります。これにより社会や組織における意思決定過程・合意形成において有効な方法や知見を体得することができます。

情報行動学科履修概念図



社会情報学部では、教養教育科目と専門教育科目を４年間にわたって立体的に配置しています。学生は、それぞれの興味や目標にしたがって、個性豊かで積極的な履修計画を立てることが期待されています。

情報行動学科の専門教育科目には、社会情報学部のすべての学生が履修する学部共通科目のほかに、情報行動学科に所属する学生全員が履修する学科共通科目と、情報メディア・情報システムの各コースを選択した学生が主に履修する情報メディア分野科目・情報システム分野科目があります。

３年次の前期から社会情報学ゼミが開講され、学科の各教員による個別の指導のもとに４年次に履修する卒業研究のための準備を行い、その後により深い専門性をもって卒業研究を行います。

また他学科の科目も、各自の学習上の興味や関心に合わせて他学科履修科目として選択し、履修することができます。

3　情報社会科学科

情報社会科学科のめざす教育

情報社会科学科は、広汎な社会情報学の中で、情報社会の特質を社会科学的に解明することを教育と研究の目的としています。

社会科学は、私たちの社会が人間らしい社会として成立し発展する条件を探究する学問です。専門分野で言えば、社会心理学、社会学、政治学・行政学、法律学、経済学、経営学、会計学、環境科学などが手を携えて、複雑な社会現象についての理解を進め、社会が向かうべき方向に対して問題提起をすべく、集団や組織・政策・制度の動態を精査することで、私たちの社会が産み出す諸課題と向き合います。

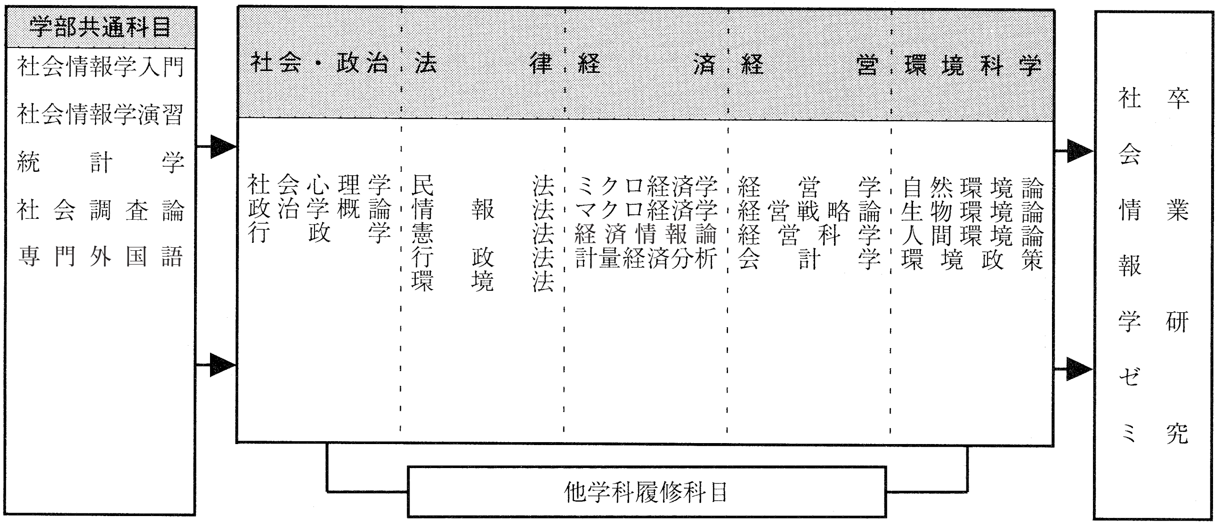
情報社会は従来の社会にはなかった多様で重層的な新しい課題を、今この瞬間にも生み出しています。

情報社会科学科は情報社会がもたらす課題に応答しつつ、人間らしい社会をつくる条件を、社会科学に立脚して科学的に分析し、社会科学の視点で有用な情報処理技法を身につけながら教育と研究を進める学科です。入学後、学生は情報社会の成り立ちについて基礎学習を行い、併行して社会科学各専門領域の基礎知識と分析手法を修得します。これらの学習基盤の上に、学際・総合的な視点で社会科学を更に専門的に学び、社会情報学の本質的課題・先端的課題への接近を図ります。

本学科では、社会・政治、法律、経済、経営、環境科学の５つの科目群を基本単位として配置された専門科目を、学生自らの学問的関心と進路希望に基づいて、自主的に組み合わせて履修することによって、新たな社会科学的総合能力、問題解決能力を身につけることができます。

また本学科では、情報社会科学科目という学際・総合的な高度専門科目を履修することによって、情報社会の特質を専門的・多角的に読み解く力、そのために必要な分析手法・情報処理技法を、実践的に身につけることができます。

情報社会科学科履修概念図



情報社会科学科の教育内容

社会情報学部では、教養教育科目と専門教育科目を４年間にわたって立体的に配置しています。学生は、それぞれの興味や目標にしたがって、個性豊かで積極的な履修計画を立てることが期待されています。

情報社会科学科の専門教育科目には、社会・政治、法律、経済、経営、環境科学の５つの科目群として類別される各学問領域に属する専門科目が配置されており、学生は自分の学問的興味と進路希望に基づいて、これらの専門科目を自主的に組み合わせて履修することができます。

３年次の前期から社会情報学ゼミが開講され、学科の各教員による個別の指導のもとに４年次に履修する卒業研究のための準備を行い、その後により深い専門性をもって卒業研究を行います。

また他学科の科目も、各自の学習上の興味や関心に合わせて他学科履修科目として選択し、履修することができます。

社会・政治系科目群

社会心理学や社会学、政治学などの視点から、情報化社会における集団関係、地域情報化や公共性、情報を基盤にした社会の管理方式をめぐり、集団のコミュニケーションとリーダーシップの在り方、制度設計の根底にある政治思想・社会思想の意義、政策過程における行政活動や政府の役割などについて学びます。政治や行政の領域と社会心理学・社会学の領域は、学習・分析・研究をする際に互いの領域の知見が必要不可欠です。そこで、これらの専門領域をまとめて学ぶことによって、諸種の社会問題の理解を深めます。

法律系科目群

法律学が対象とする社会の現象を法現象といいますが、情報社会における法現象を分析し問題点の解決策を探るための学習をします。低年次では、情報社会において解決すべき法現象の問題点を理解し、また問題点を解決するために必要な法律学の基礎を学習します。高年次では、法律学の基礎的理解を前提として、情報法などの発展的な科目によって情報社会における法現象の内容を学習し、問題解決の方向性を探ります。

経済系科目群

経済という大きなシステムを理解するための基礎的・理論的科目と応用的科目で構成されています。低年次では経済現象のとらえ方と、経済理論と経済統計の概要を学びます。同時に応用的科目によって、経済政策、労働経済、財政、国際経済などを学び視野を広げます。高年次では現実の経済現象や情報社会を理論的・数量的に分析するための経済学的方法や政策課題について深く学びます。

経営系科目群

経営の諸機能、マーケティング、会計学、財務情報などを学び、また組織と情報との関わりについて多面的に学びます。これらの経営や情報の知識の修得とともに、論理的な分析力や意思決定能力を高め、倫理観

も兼ね備えるような学習をします。現代社会では人々の価値観が多様化しているため、物事を多角的視野とバランス感覚でとらえることが重要です。こうした社会変化に対応する状況判断や手段の選択などを学び、変化に柔軟に対応できる能力を修得します。

環境科学系科目群

企業や国・自治体、個人の生活における環境保全や環境対応の理論と方法について学びます。低年次では、資源や野生生物・食料などの基盤的環境要因の成り立ちを学びます。高年次では、公害・廃棄物、地球環境問題など諸環境問題の原因・影響と解決策について学びます。これらを踏まえて、環境情報の収集と分析の方法を体験学習し、また企業や国・自治体における、環境対策の立案から実施の実際のプロセスを学びます。

4　卒業後の進路

情報処理に関する先端的技術を修得し、行政や企業、あるいは地域社会での情報化の効果的推進に関して深い理解力をもち、あわせて、明日の人間と社会の在り方を展望する基礎的能力を身につけますので、卒業後の進路としてはかなり広範な職域の門戸が開かれています。

なお、卒業者には、学士（社会情報学）の学位が授与されます。

以下に、卒業後の主な進路をあげておきます。

●進路状況（平成27年３月卒業）　27. 4. 1現在

区　分	人　数
卒業者	128
就職者	112
企業等	92
公務員	20
進学者	5
その他	11

●就職状況（平成27年３月卒業）

	業　種　別	人　数
企業等	建設業	2
	製造業	6
	電気・ガス・熱供給・水道業	1
	情報通信業	26
	運輸業	2
	卸売・小売業	10
	金融・保険業	17
	不動産業	2
	学術研究・専門サービス業	5
	宿泊業・飲食サービス業	1
	生活関連サービス・娯楽業	4
	教育・学習支援業	1
	医療・福祉業	6
	複合サービス業	6
	サービス業	3
	公務	20
計		112

出願書類記入上の注意

次の事項に留意し、もれなく正確に記入してください。

（ア）　黒又は青インクを使用してください。（ボールペンも可）
（イ）　太線内は、すべて記入してください。（※印の欄は注意事項に従うこと。）

1　編入学願書

①　一般入試か社会人入試かの別及び志望学科を○で囲んでください。
②　出身学校は、学部・学科・専攻等まで記入してください。
③　現住所は、合格通知書・入学手続書類等の送付及びその他本学からの連絡の際に使用するので、詳細に記入してください。
④　選択科目は、選択する科目名を○で囲んでください。（一般入試受験者のみ。出願後は、科目の変更を認めません。）

2　検定料振込用紙

①　検定料を金融機関から支払う場合は、この用紙を使用して、注意事項に従い、本学が指定する銀行へお振込みください。
②　「振込金受付証明書」は編入学願書裏面の所定の欄に貼付してください。

3　照合票

①　一般入試か社会人入試かの別及び志望学科を○で囲んでください。
②　写真（上半身・正面・無帽で、出願前３か月以内に撮影したもの。縦４㎝×横３㎝）の裏に氏名を記入して、全面糊付けしてください。
③　選択科目は、選択する科目名を○で囲んでください。（一般入試受験者のみ。出願後は、科目の変更を認めません。）

4　受験票

①　一般入試か社会人入試かの別及び志望学科を○で囲んでください。
②　選択科目は、選択する科目名を○で囲んでください。（一般入試受験者のみ。出願後は、科目の変更を認めません。）

5　志望理由書

①　一般入試か社会人入試かの別及び志望学科を○で囲んでください。
②　面接に使用しますので、特に伝えたいこと等を記入してください。

◎　なお、出願に当たっては、「出願手続」の⑴～⑾の書類があるか確認の上、本学所定の封筒を使用し、必ず書留速達で郵送してください。